

7月6日：大型株が売られ、VN指数は下落（VN指数 -0.74%）

- VN指数は1,140ポイントが抵抗線となっており、前日変わらず付近で午前の取引が始まった。
- 投資家の関心はFRBの利上げ可能性に移った。VN指数はその他のアジア市場と同様の下落となった。
- 午後に入り、大型株が売られる展開となり、相場は下落することとなった。
- 引け間際にわずかに買いも入ったが、上昇は中小型株が中心に留まった。
- 幅広い銘柄が売られる展開。94銘柄のみが上昇、339銘柄が下落した。46銘柄は変わらずだった。
- 流動性は午前中は低調だったが、午後に入り売りが集まったことから、売買代金は18.6兆ドンに達した。

VN30指数は大きく下落（VN30指数 -0.91%）

- 時価総額・流動性の大きい30銘柄で構成するVN30指数は、8銘柄が上昇、20銘柄が下落、2銘柄は変わらずだった。
- 相場の下落を和らげたのは、GAS（+1.0%）、GVR（+3.0%）、VNM（+1.0%）などだった。
- 不動産セクターが指数を押し下げ、NVL（-2.0%）、PDR（-2.6%）、VHM（-2.9%）、VRE（-2.0%）などが主な下落銘柄だった。

セクター・個別株の動き

- 今後も利上げが続くとの懸念の中で、保険セクターのBMI（+3.3%）、BVH（+0.4%）、MIG（+1.1%）などが堅調な動きだった。
- VND（-6.5%）はストップ安近辺まで下落した。Trung Namグループに関連する懸念を受けてのことだった。10億米ドルの同社社債のアンダーライターだったことからの悪影響が懸念されている。

- 外国人投資家は3,268億ドルの売り越しとなった。売られた銘柄ではSTB。一方、HPGには買いが集まった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。